

令和4年度鎌ヶ谷市生涯学習審議会第2回会議 会議録

◎ 開催日時 令和5年2月8日(水) 午後2時00分～午後3時45分

◎ 会場 鎌ヶ谷市生涯学習推進センター3階研修室1

◎ 出席委員 10名

伊藤眞由美会長、篠田繁副会長、秋田重之委員、石川優子委員、石田友和委員、
稲葉祐美委員、佐藤克己委員、中野洪委員、中野由博委員、御代川泰久委員

◎ 欠席委員 3名

有川かおり委員、藤原俊治郎委員、矢島義文委員

・鎌ヶ谷市生涯学習審議会の委員定数13名に対し、出席委員10名であり
会議は成立(鎌ヶ谷市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定に基づき)。

◎ 事務局 9名

岩松生涯学習推進課長、渡邊生涯学習推進課長補佐、柿本青少年センター所長、
萩原生涯学習推進課企画調整係長、斉藤図書館長、三石郷土資料館長、伊藤文
化・スポーツ課長補佐、後野文化・スポーツ課副主幹、桑原生涯学習推進課企
画調整係主査

◎ 傍聴者 0名

1 開会

2 会長あいさつ

3 委員・職員紹介

4 会議録署名人の選出

会議録署名人については、秋田委員、石川委員に決定した。

5 議題

(1) 報告事項

ア 令和4年度生涯学習関係事業報告及び令和5年度生涯学習関係事業計画に
ついて

～事務局から資料に基づき説明～

【意見及び質疑応答】

委員： 会議資料3ページ「かまがや再発見クラブ」について、現在実施している学校は、西部小学校と初富小学校のみになっているが、このような事業はもっと広げていただきたい。我々が子どもを育て、その子どもが孫を連れて鎌ヶ谷市に戻って来た時に参加する行事は夏まつりぐらいであり、他市他県に転出したら、出て行ったきり鎌ヶ谷市には帰ってこない状態である。それでは人口が減ってしまう感じがする。鎌ヶ谷市は良い街だったと思うように、我々自身も再発見する必要があるのではないか。何かあったら、すぐに鎌ヶ谷市に戻ってこようという子どもたちを育てていく必要があると考える。恐らく、西部小学校と初富小学校が手を挙げたのだと思うが、市内には小学校9校、中学校5校あるので、ぜひ力をいれていただきたい。

事務局： いただいたご意見を参考にし、今後検討していく。

委員： よろしく願います。

委員： 昨年の12月に文化財の保存活用地域計画が国に認可されたかと思うが、この事業計画とは関係があるか。関係があれば教えていただきたい。

事務局： 令和4年12月に文化庁の認定を受けた文化財保存活用地域計画は、文化財の保存と活用を両立させた、令和5年から10年間の取組みをまとめた計画である。その中で、今回一覧で示した文化財の事業は関係してくる内容であり、国史跡について、この計画の中で活用を図っていくことを載せている。また、郷土資料館の取組みについても、文化財の保存活用に関係する内容になる。

委員： 理解した。

委員： 今の意見に関連するが、会議資料16ページ「歴史的建造物保存活用事業」について、澁谷家住宅が対象になっている。保存・活用にお金がかかるのは分かるが、予算額が6,491千円になっている。この予算額の詳細・内訳表に記載の項目だけでは分かりにくいので説明をお願いしたい。決して金額が高いと言っているわけではない。

事務局： 歴史的建造物保存活用事業である澁谷家住宅については、令和2年度に国登録有形文化財になり、令和4年度に敷地を購入した。今後、鎌ヶ谷市で整備を行い、見学できるようにしていく予定。併せて、澁谷家を今後どのように保存活用していくかの計画を作成することになる。計画を作成するにあたり、今の建物の耐震がどのような状況にあるのか、その耐震状況を確認しながら、どの部分をどのように改修するのかということ踏まえた内容を計画に盛り込む必要があり、そのために専門的知識をもった業者に

委託をして作成する。そのための委託料というのが主な予算になっており、保存活用計画作成等委託がそれに当たる。その中で、先ほど申した耐震関係や、今の建物の状況を知るための設計監理委託が必要となり、それらの経費を計上している。また、敷地がとても広いので、建物の保存だけではなく、道路に面した畑があり、畑の奥に澁谷家の門があり、建物がその奥にある状態で、更に家の裏に雑木林がある。それを一体的に整備していきたいと考えている。それが佐津間地区の風景にもなるため、活用しながら残していく必要がある。そのためには、除草作業も必要になり、これには費用も時間もかかるため、それを予算化している。

委員： 了解した。今回の場所は、鎌ヶ谷市内の佐津間にある澁谷家でよろしいか。

事務局： そのとおり。

委員： 会議資料18ページ「スポーツ施設指定管理」について、予算額が、75,057千円になっている。事業計画一覧に事業の内容が書いてあるが、市内10個所のスポーツ施設に対し、市民サービスの向上や経費の削減等、効率的な運営を図るとなっているが、指標や経年推移など、効果が分かるものはあるか。

事務局： 指定管理者制度を採用しており、毎月の指定管理者との事業モニタリングや、毎年開催される業務評価委員会にて、前年度の評価を示しており、管理運営経費に関する予算額及び決算額もそこで提示される。

委員： 効果が上がったなど、前年比数値がでているなどの推移があれば良いのだが。評価対象の数値などは特にないものか。

事務局： 先程申した業務評価委員会の中で、評価対象の数値は出ており、毎年確認している。

委員： 効果はでているということで良いか。

事務局： 良い。

会長： 令和4年度から株式会社協栄千葉支店に業務委託をするようになっていたため、より具体的な数値の推移、どれだけ金額を抑えていけるかなどについては、これからまたでてくると理解してよろしいか。

事務局： そのとおり。

委員： 了解した。

委員： 会議資料2ページ「家庭川柳事業」について、私は家庭川柳選定委員をしているが、今年度は小中学生から約1,400句集まった。去年は、約1,600句だったので多少減ったが、面白い句が沢山あり、家庭においては、母親に実力があるというような様子が伺えた。令和5年2月16日開催予定の最終審査会において、約160句に絞り、金賞・銀賞・銅賞を

決めることになる。小中学生の川柳から見える家庭というのは、鎌ヶ谷市は良いのではないかと思ひ、安心している。経過報告ということでよろしくお願ひしたい。

委員：あまり強くは言えないが、図書館の蔵書のうち、古い本が減っているように感じる。書庫が小さいから、そのようになってしまうのだと思うが、公民館には図書館分館もあるので、蔵書は減らさないで増やしていく方向でお願いしたいのだが、いかがか。

事務局：今後、新京成線高架下に書庫を2棟ほど確保する計画があるので、委員おっしゃるとおり、蔵書の確保に努めていきたい。

委員：昔あった図書が、今はないというような状況にならないよう、よろしくお願ひしたい。

イ 令和5年度社会教育関係団体に対する補助金交付について

～事務局から資料に基づき説明～

【委員：意見等なし】

ウ 審議会等出席状況について

～委員から資料に基づき説明～

【委員：意見等なし】

エ 令和4年度東葛飾地区社会教育振興大会における事例発表について

～鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会「コロナ禍における体験活動の取り組みと現状と成果について～

～委員から資料に基づき説明～

【意見及び質疑応答】

委員：子どもたちが参加できる会が沢山あるが、他の会と一同に会して情報交換を行うといったようなことは考えているか。そのような会があれば、会同士友好的な結びつきができ、お互いに助け合うことができるのではないか。

委員：私たち鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会は、昭和47年鎌ヶ谷町のころに、市教育委員会から青少年リーダー育成研修の話があり、子ども会を発足した。その時には、地域の青少年リーダーを育てようと、小学校の校長先生や地域の方々にも協力してもらい活動できるようになった。私たちが運営する目的は、青少年リーダーを育てることと、地域の子もたちや子ども会が減少傾向にある中、少しでもこちらに目を向けてくれる方を増やすことである。地域の人たちや子どもたちが楽しく過ごせるようになるのであれば協力していきたい。

委員：市としては、どのような考えか。

事務局：全団体が一堂に会して意見を交換する場というのではないのが現状であるが、幸いなことに青少年の事業では、子ども会やスカウト連絡協議会、青少年相談員の事業などがあり、その団体同士で情報交換をやっている。少しでも有意義な活動ができるよう市としても支援していきたい。

会長：間接的ではあるが、私は鎌ヶ谷市少年少女合唱団を立ち上げて発足25年以上になるが、中には子ども会で活躍しているリーダーの子が入っていたり、子ども会で育んだノウハウを活かして、鎌ヶ谷市少年少女合唱団のリーダーとなり、自ら進んで行動してくれる子がいたりと交流しているケースもある。これからは少子化になっていくので、子どもの減少を懸念する。

委員：鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会の事例発表を見ることができ、とても一所懸命活動されていることがよく分かった。子ども会の団体数も減ってきている状況ではあるが、子どもは地域の宝である。団体活動における育成をよろしく願いたい。

委員：鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会は、発足して約50年経過したとのことで、昔から現在も継続して活動していることが伺えた。リーダー研修があるなど、特徴のある団体だと思われるが、リーダー同士で交流を図ることなどはあるか。

委員：鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会は、全国子ども会連合会や、千葉県子ども会育成連合会に属している。また、リーダーについては、鎌ヶ谷市で初級認定講習会を受け、千葉県で中級・上級認定を受け、その後は全国での取組みがある。皆、部活動等で忙しい中、時間をつくり、研修を受けてくれている。東葛飾地区のリーダースクラブ交歓会などもあり、東葛飾地区のジュニアリーダーとの情報交換やレクリエーションの交流を通し、リーダーとしての資質向上を図っている。このようなことから繋がりづくりというものはできているのではないかと思っている。

6 閉 会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

令和5年3月31日

氏名 石川 優子

氏名 秋田 重之